

威儀 いぎ

「youは何しに日本へ？」を見てみると、日本に来

たフランス人が、登下校中の中学生を

見て驚いていました。制服を着ていたからです。フランスでは、ほとんど私服だよと。「清潔でいいね」と感想を述べていました。

身なりを整えることを威儀を正すといいますが、この威儀は仏教でも用います。四威儀といつて、行住坐臥、動いているとき、留まっているとき、座っているとき、寝ているときのすべてに戒律が定められています。なかなか守ることができませんが、威儀を整えることで、身を律し、相手への畏敬の念を表すことができます。

お客さんに礼を尽くしているか、取引先には失礼ではないか、部下は気持ちよく仕事はできているか、子供に対して一人の人間として尊重しているか…、これ

れもすべて威儀を正すうちに入るのでしよう。

日常の中で威儀を正すことで、他への敬いの思いを育むことができるのだと思います。



怒るは自衛のため
叱るは相手のため
つけか鼻をかか
するは身

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。

意地 いじ

意地を張る、意地を通す、私には〇〇の意地がある

ると「意地」は使われますが、意味合いと

しては意志の強さを表しているようです。

仏教では、いまの心模様をいいますので、一般的に用いられている意思が凝り固まる意地とは意味合いが違います。

仏教では凝り固まることをきらいいます。すべてのものは移ろう空であると般若心経は説きますが、すすめていくと空であるということにも固執してはならないとできてきます。

意地をはったり、プライドを持つことは時には大事なことです。それが行き過ぎると人も自分も傷つける凶器と化します。いまの心模様はどうであるかを確認する。手を

人としての
意地でござる



合わせていく生き方には、常に自己と向き合う謙虚さがあります。次の日になつてつもらん意地を張っていたなど反省する日が多いわたしです。

空即是色
色即是空